

令和7年度 山梨県立都留高等学校(定時制)評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

学校目標・経営方針	誠実な心と健康な身体を持ち、学に励み克己に努める、心身ともにたくましく、しなやかな生徒を育成する。
-----------	---

山梨県立都留高等学校校長 三枝 正人

本年度の重点目標	1 知徳体の調和のとれた人間の育成に努める。	達成度	A ほぼ達成できた。(8割以上)	評価	4 良くできている。
	2 道徳意識・規範意識の向上に努め、豊かな心を育む。		B 概ね達成できた。(6割以上)		3 できている。
	3 言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力の育成に努める。		C 不十分である。(4割以上)		2 あまりできていない。
	4 体力の向上と健康・安全の保持増進に努める。		D 達成できなかった。(4割以下)		1 できていない。

自 己 評 価				学校関係者評価		
本年度の重点目標				年度末評価(2月12日現在)		
番号	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	自己評価結果	達成度	成果と次年度への課題・改善策
1	基本的生活習慣の確立と道徳意識・規範意識の育成	学業と就労の両立を支援し、欠席、遅刻、早退などをしないように指導する。 全校集会・全校行事での挨拶運動を徹底し、日常生活でも行えるようにする。 各種行事や講演会等において、豊かな心の育成を意識した内容を含めて計画・実施する。	統計一覧表及び学校改善点検シートの活用 生徒評価シート及び改善点検シートの活用 生徒評価シート及び改善点検シートの活用	・中学校時代に不登校傾向のあった生徒も登校を継続できており、出席率は90%強である。 ・生徒数は13名と少ないため、生活面や学習面でも指導が行き届きやすい。職員間で情報共有を行い指導に活かした。 ・様々な面で経験不足の生徒が多いため、学校行事や講演会など授業以外の学習も充実させるよう努めた。	A	・校外活動など積極的に参加できているので、今後は一層地域の人との関わりや就労を意識したキャリア教育の充実を目指したい。 ・学習と就労の両立が難しい生徒が見られる。社会的自立に向けて生活習慣を整えるためにも支援を行いたい。
2	言語活動の充実とコミュニケーション能力の育成	授業改善に積極的に取り組み、多様な学びの実現と「わかる授業」を実践し、確かな学力を育成する。 言語活動の充実に取り組むとともに、文章検定や漢字検定、英語検定などの資格取得を奨励し、学習意欲の向上をめざす。 LHRや特別活動を通じて、コミュニケーション能力の育成と豊かな人間関係づくりを図る。	授業アンケートの活用 受験状況及び合格者数 生徒評価シート及び改善点検シートの活用	・授業改善のための授業参観を実施した。「分かる授業」となるよう、ICT活用、義務教育段階からの復習など様々な工夫を行った。アンケートからも授業に関して高評価が得られた。 ・漢字検定、文章検定、英語検定など積極的に取り組んだ。 ・LHRや総合的な探究の時間など他年次と合同で実施して縦の繋がりも意識したが、人間関係作りには苦手意識が強い。	A	・多様な背景を持った生徒がいるため、少人数の授業形態を継続して、個に応じた支援を継続していきたい。 ・検定試験以外にも基礎学力をつけるための学習支援が必要である。
3	健康・安全教育を推進するとともに、スポーツに親しむ習慣・意欲を養い、体力の向上を図る	薬物、感染症、喫煙、防犯防災、食育、交通安全等、重要課題についての講話・講習会を充実させ、健康・安全について考えさせる。 定通総体の各種目への積極的な参加を促し、学校全体で運動やスポーツに親しむ雰囲気醸成する。 健康・体力づくり一校一実践運動により、体育活動や健康教育を充実させ、健康と体力の向上を図る。	生徒評価シート及び改善点検シートの活用 生徒評価シート及び改善点検シートの活用 新体力テスト及び健康意識調査の活用	・大月消防署や警察署等と連携し、救命講習や交通安全、スマホトラブル等の講話を企画し、健康・安全の意識向上を図った。 ・総体には積極的に参加し、卓球競技の団体戦で全国大会に出場した。また体育では基礎体力作りと総体参加種目を中心に競技に取り組んだ。	A	・体力的に体育や大会に参加するのが困難だと感じる生徒もいるが、実態に合わせて丁寧な指導をすることで参加意欲を高めた。 ・非常勤養護講師が週10時間勤務しており、生徒の心身の健康管理に大きく貢献しており、定時制には欠くことのできない存在である。今後も継続的に勤務していただけるよう県に要望していきたい。
4	キャリア教育・進路指導の充実	進学・就職希望者に対する進路指導の充実を図り、卒業時の進路決定率100%を目指す。 ハローワークや外部機関との連携を深め、計画的な進路指導を行う。 「働き方改革」に基づき、バランスのとれた働き方について考え、働くことの意義を再認識させる。	相談・ガイダンス件数及び進路決定率 生徒評価シート及び改善点検シートの活用 生徒評価シート及び改善点検シートの活用	・進学・就職指導は1年次から継続的に実施する必要がある。特に進路に関する講話や職場見学などは、生徒の実態に合わせて実施できるように見直しが必要であった。 ・ハローワークのみならず、若者サポートステーションなどの外部機関を活用して、就労に至るまでの準備も丁寧に指導する必要性を感じた。	B	・キャリア教育は定時制において特に重要である。来年度は、外部機関との連携を充実させて、段階を踏んだ丁寧な指導を行いたい。
				学校関係者評価		
				実施日 (令和8年2月12日)		
				評価	意見・要望等	
				4	・課題を抱えた生徒が毎日登校し、学びを深めていることは、基本的生活習慣の確立の素地となります。今後も、安心して学ぶことができる環境で合ってほしい。 ・支援が必要な生徒が多い中、手厚い指導のおかげでほとんどの生徒が卒業までたどりつけていることに感動します。 ・定時制高校の役割を再認識しました。	
				4	・今後、社会に出る生徒たちにとって、コミュニケーション能力が大事となります。今後も少人数の利点を生かして指導支援をお願いしたい。 ・先生方が丁寧に指導されていると思います。 ・多様な背景を持った生徒がいるため、個に応じた支援を大事にしている。難しいことが多くあると思いますが、頑張ってください。	
				3	・卓球競技の全国大会出場は素晴らしいと思います。定時制の生徒にも高校生らしい経験をもっとしてもらえたらいいと思います。 ・先生方が様々な工夫を行い、部活動でも力を発揮する機会を与えてくださっていることは素晴らしいと思います。 ・情報モラルについて、多くの課題があります。情報活用能力の育成とともに大事にしてほしい。	
				3	・キャリア教育について、実際の学習が行われていると感じる。今後も、生徒の実態に沿って、外部機関等と連携して行ってほしい。 ・職場体験や就労体験などについて、学食での配膳など身近な社会とのつながりを持たせていくとよいと感じます。	

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。

(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。